



## 「(エセ)働き方改革」・「安倍9条改憲」を阻止しよう!



表題は安倍首相の最大重点政策です。「働き方改革」は、労働基準法など8本の関係法の改定部分を束ねて提案する「一括法案」で、戦争法(安保法制)と同じやり方です。勤労国民の死活問題である重要法案の本質が馬脚を露さない内に速やかに成立させる魂胆です。

その本質は本誌18年1月号の特集『働き方改革』にだまされるな!」で暴露されています。「高プロ」「裁量労働拡大」「長時間労働容認」などは「健康破壊・過労死ラインを超える」ばかりか、ワーク・ライフ・バランスさえ無視し、人間を「儲けの道具」としか見ない安倍・財界の本性と言えます。

いま一つの「(安倍)9条改憲」は、今年最大の正念場を迎えます。安倍首相の本音は9条を死文化・空文化

して、米軍に追随し、海外での武力行使を無制限に進めるものです。いま危険なのは朝鮮半島です。米韓合同演習(戦争準備行動)は戦争の危機をつくります。安倍首相は「すべての選択肢はテーブルの上にあるというトランプ大統領の方針を強く支持する」態度であり、「違憲の」戦争法」が、朝鮮半島で行使される危険があります。幸い温度差はあるにしても、立憲民主党をはじめ民進・希望の党なども「働き方改革」「(安倍)9条改憲」に反対・疑義有りの態度です。17年総選挙でも自民党の絶対得票率は17・89%で、100人の内18人弱の得票に過ぎません。「3000万人署名」を成し遂げ、「(エセ)働き方改革」を暴露し、安倍首相や財界の野望にピリオドを打つ大きな世論づくりを進めましょう。

労働大学企画編集委員 福田 実